

## 2 アンケート調査の概要

### (1) 調査の目的

「田原本町次世代育成支援行動計画」の策定にあたって町内に在住の「就学前児童」及び「小学生」のいる世帯を対象に調査を行いました。

### (2) 調査対象者

調査対象者は「就学前児童」を持つ保護者と、「小学生」を持つ保護者を対象としました。

### (3) 回収結果

●調査地域 田原本町全域

●調査対象 ①田原本町内在住の「就学前児童」を持つ保護者

②田原本町内在住の「小学生」を持つ保護者

●対象者数 ①1,081人

②1,056人

●調査方法 対象者に調査票を郵送、郵便での返送による回収

※調査票の回答は抽出された児童の保護者に依頼し、調査の回答にあたっては、原則として抽出された児童について求め、原則無記名とする。

●調査日程 平成21年2月6日～平成21年2月20日

●回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
	1,081	550	50.9%
	1,056	555	52.6%

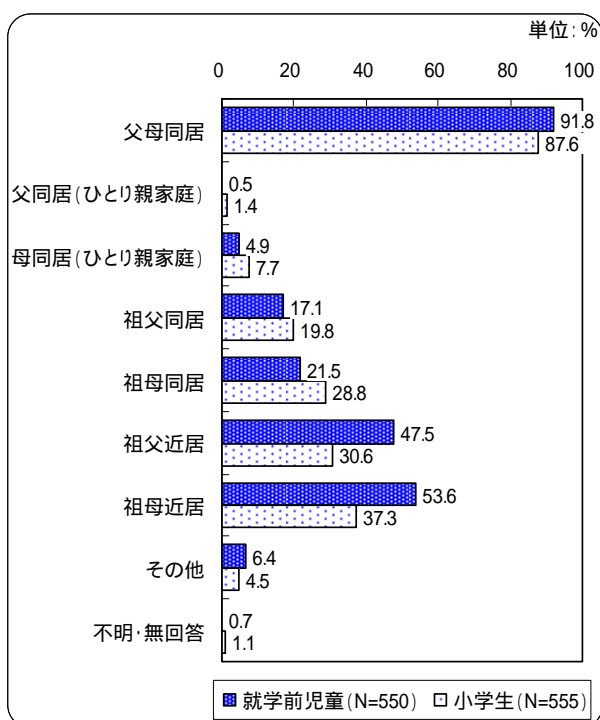
## (4) 調査結果

### 家族の状況について

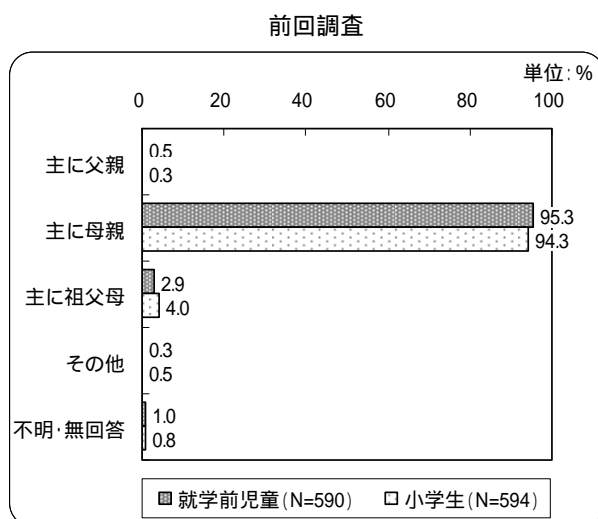
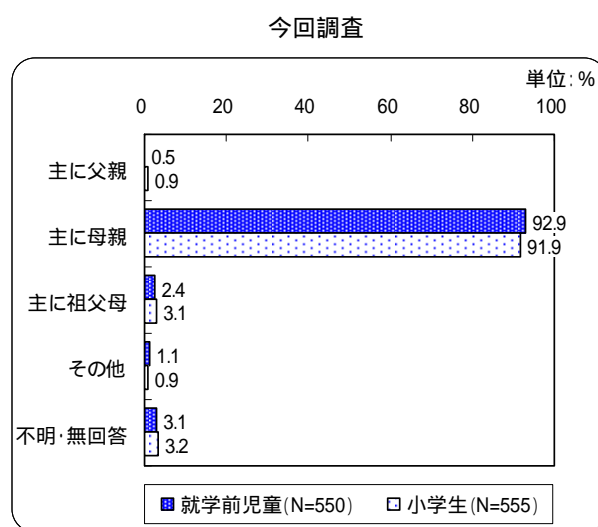
同居・近居の状況についてみると、就学前児童・小学生ともに「父母同居」が高くなっています。また、「祖父近居」「祖母近居」も高くなっており、特に就学前児童で高くなっています。

主に世話をしている人については、就学前児童・小学生ともに「主に母親」が9割を超えて高くなっています。また、前回調査と比較すると、「主に母親」が高く、同様の結果となっています。

【同居・近居の状況】



【主に世話をしている人】



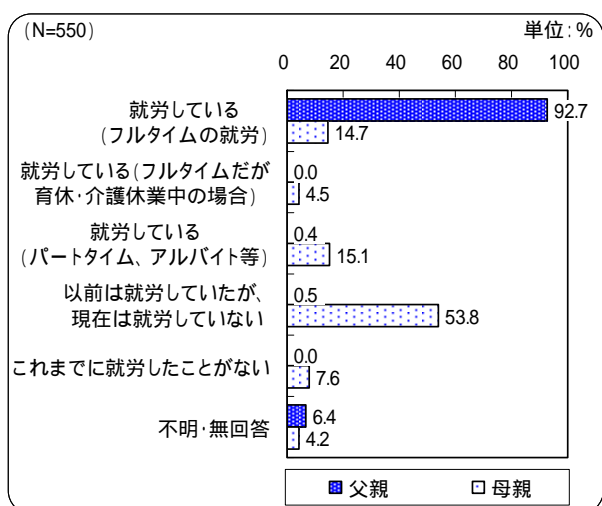
## 就労状況について

就労状況についてみると、就学前児童・小学生ともに父親は「就労している（フルタイムの就労）」が高くなっており、母親は就学前児童が「以前は就労していたが、現在は就労していない」が53.8%で高く、小学生は「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が37.5%で高くなっています。

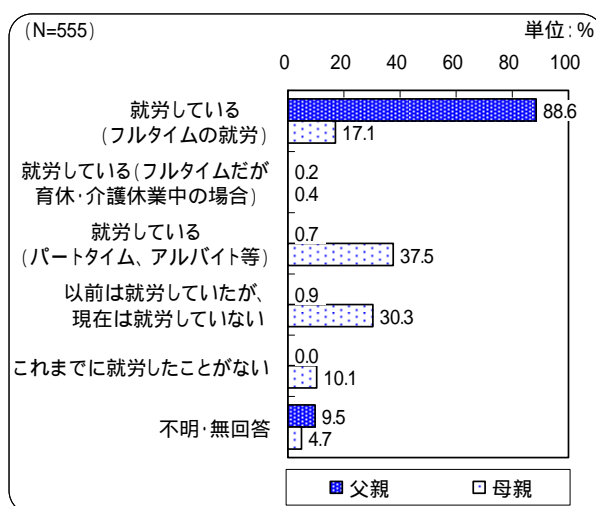
また、現在就労していない、またはこれまで就労したことのない母親の今後の就労希望についてみると、就学前児童・小学生ともに「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」が高く、特に就学前児童で約7割と高くなっています。

育児休業制度の利用状況についてみると、「母親が利用した」が就学前児童で18.2%、小学生で11.2%となっており、「父親が利用した」は就学前児童・小学生ともに0.2%にとどまっています。

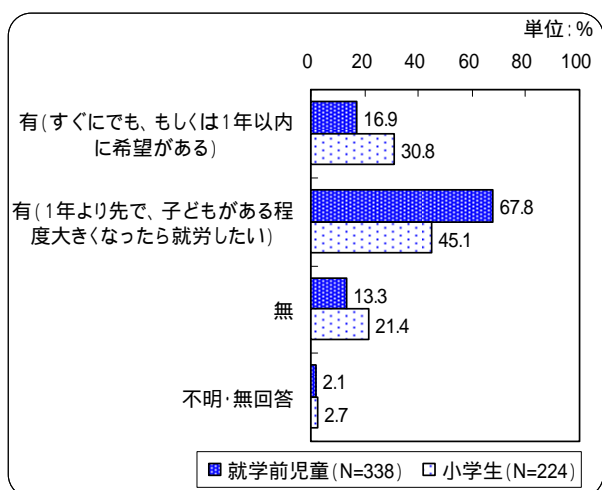
【就労状況(就学前児童)】



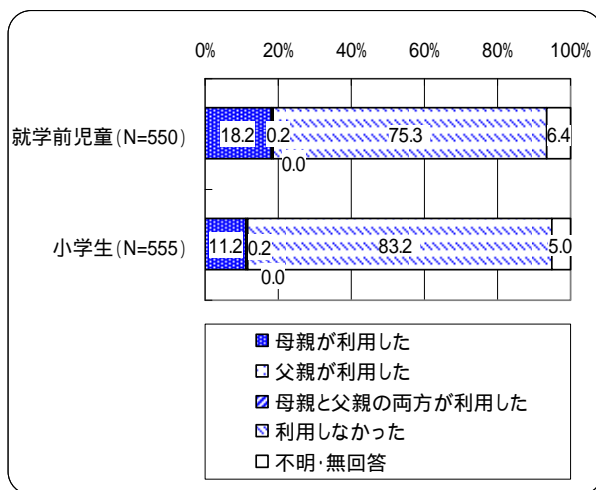
【就労状況(小学生)】



【母親の就労希望】



【育児休業制度の利用状況】



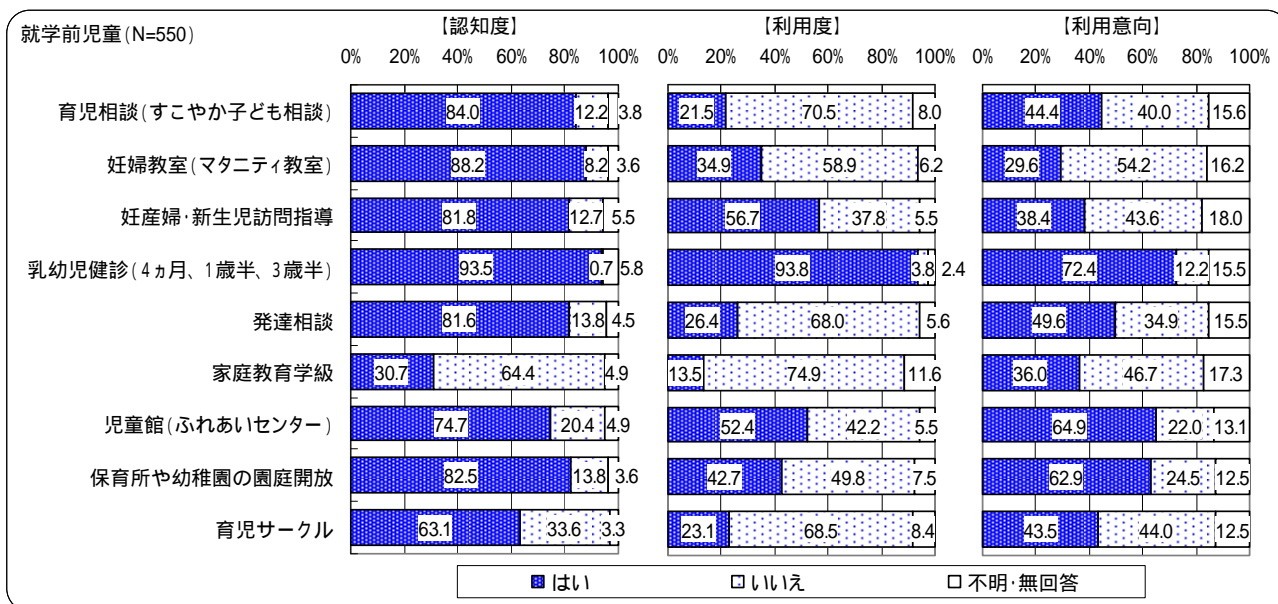
## 子育て支援サービスについて

子育て支援サービスについてみると、就学前児童では「家庭教育学級」の認知度がほかの項目と比べて低くなっています。また、「乳幼児健診（4ヶ月、1歳半、3歳半）」以外のすべての項目で、認知度に対して利用度が大幅に低くなっており、「発達相談」に関しては利用度に比べて利用意向が高くなっています。

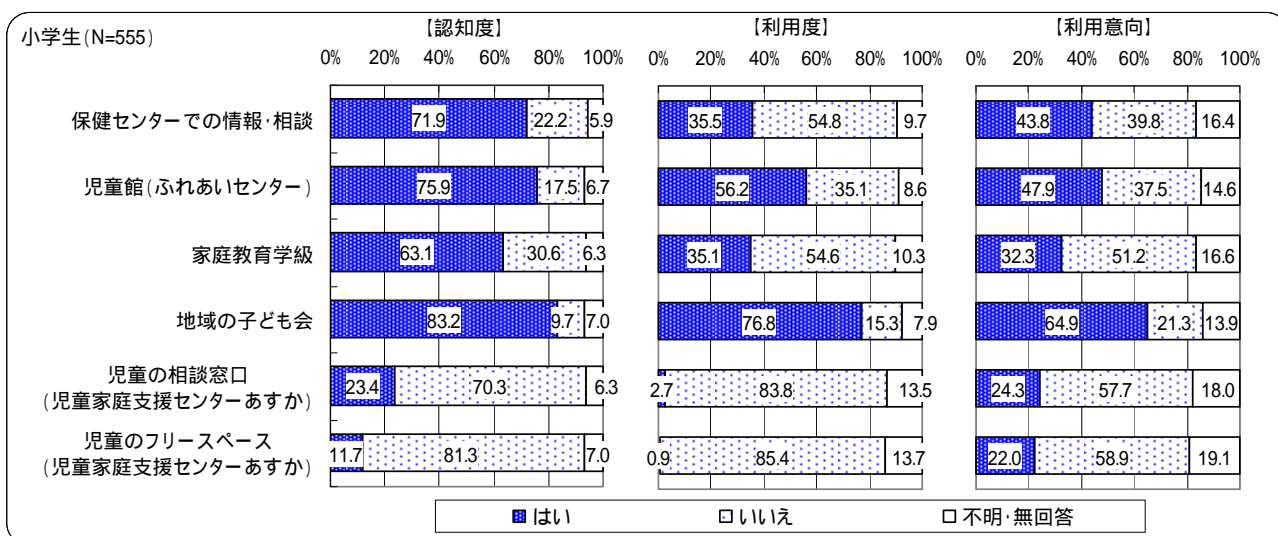
小学生では「児童の相談窓口（児童家庭支援センターあすか）」「児童のフリースペース（児童家庭支援センターあすか）」については、利用度に対して利用意向が高くなっていますが、「地域の子ども会」については、利用度に対して利用意向がやや低くなっています。

【子育て支援サービスについて】

### 就学前児童



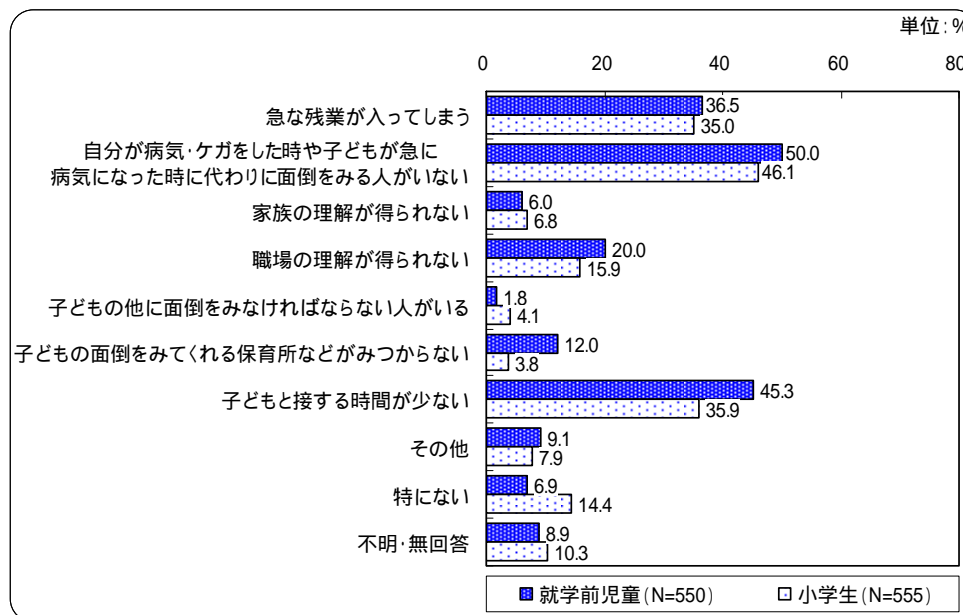
### 小学生



## 仕事と子育てについて

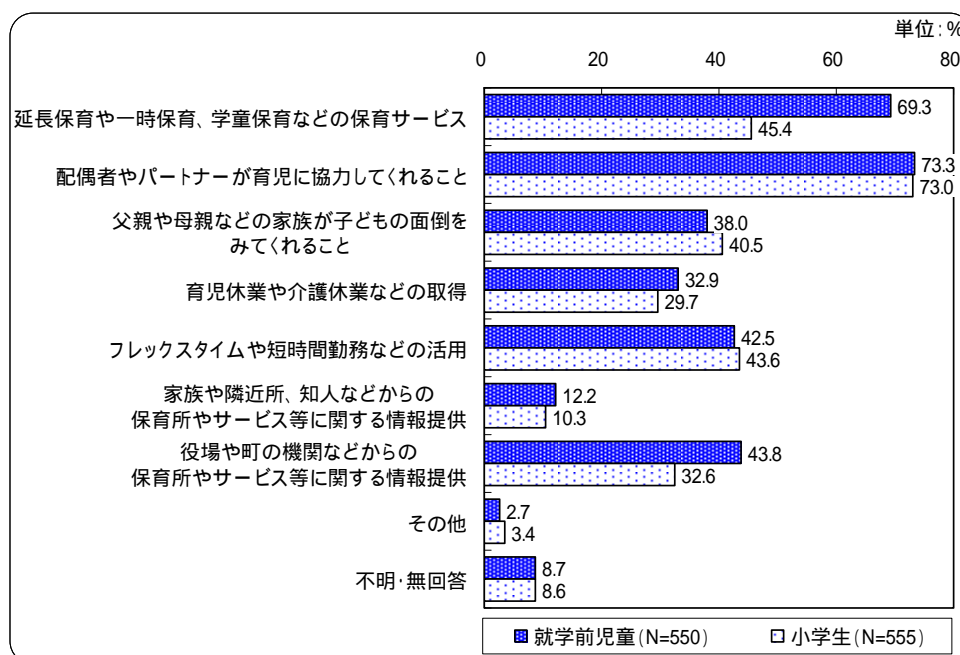
仕事と子育てをする上で大変だと感じることについてみると、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が就学前児童で50.0%、小学生で46.1%とそれぞれ最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」「急な残業が入ってしまう」が高くなっています。

【仕事と子育てをする上で大変だと感じること】



仕事と子育ての両立に必要なことについてみると、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」が就学前児童で73.3%、小学生で73.0%とそれぞれ最も高く、次いで「延長保育や一時保育、学童保育などの保育サービス」が高くなっています。

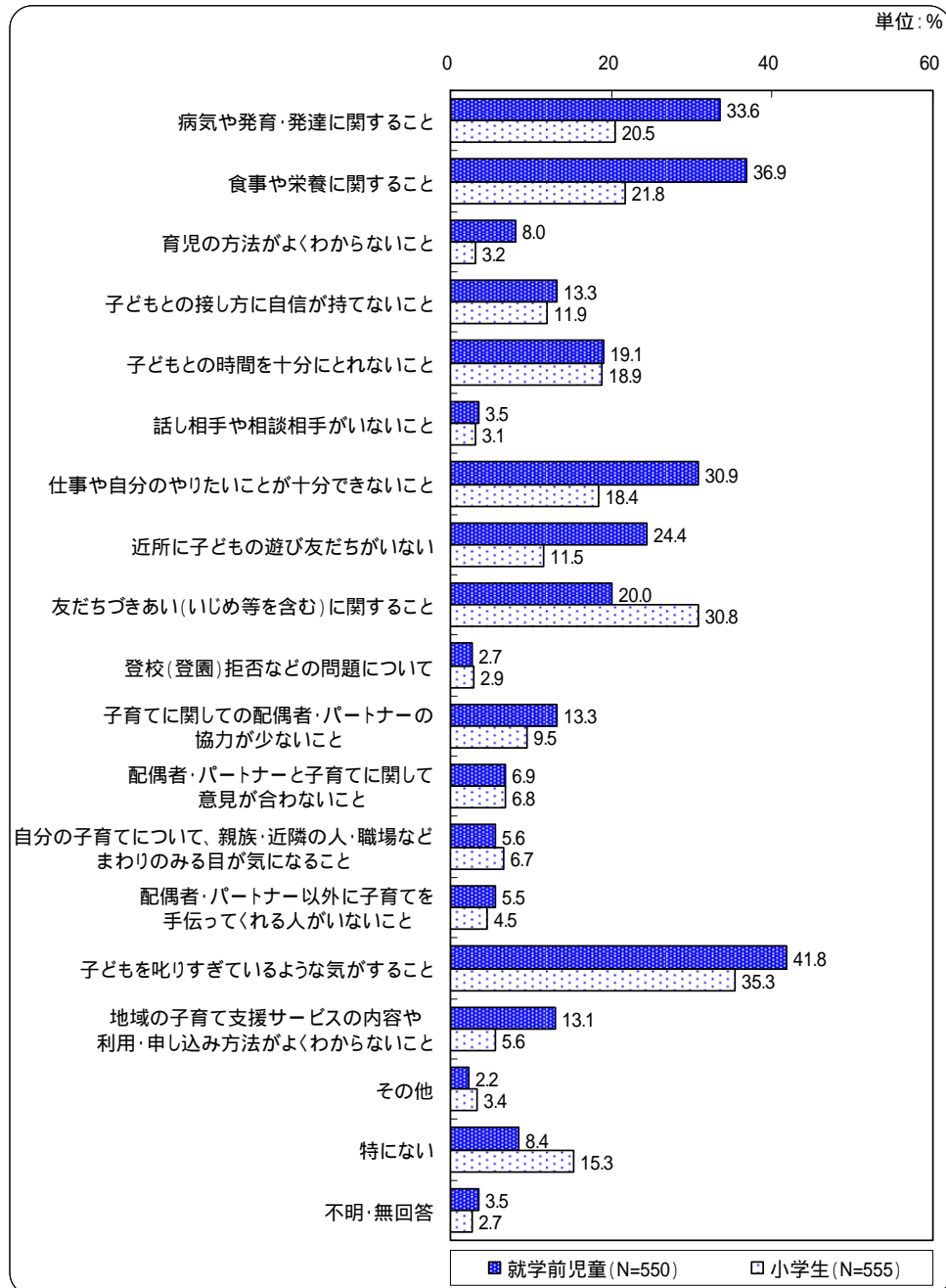
【仕事と子育ての両立に必要なこと】



## 子育ての不安と悩みについて

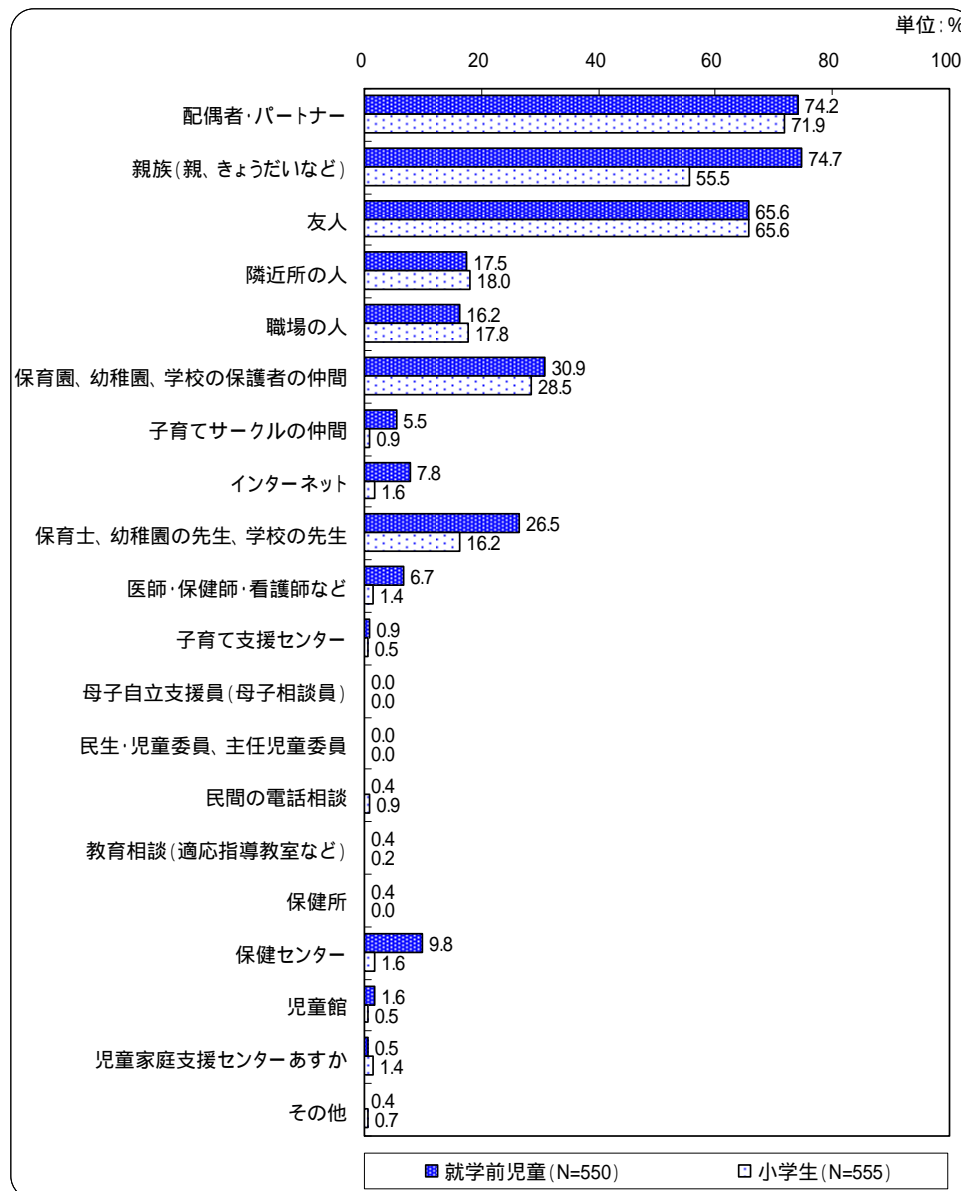
日頃悩んでいること、気になることについてみると、就学前児童・小学生ともに「子どもを叱りすぎているような気がする」とが最も高く、次いで、就学前児童では「食事や栄養に関すること」が、小学生では「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関する」とが高くなっています。

【日頃悩んでいること、気になること】



悩みや不安の相談先についてみると、就学前児童・小学生ともに「配偶者・パートナー」「親族（親、きょうだいなど）」「友人」が突出して高くなっており、身近な人が相談相手となっていることがうかがえます。

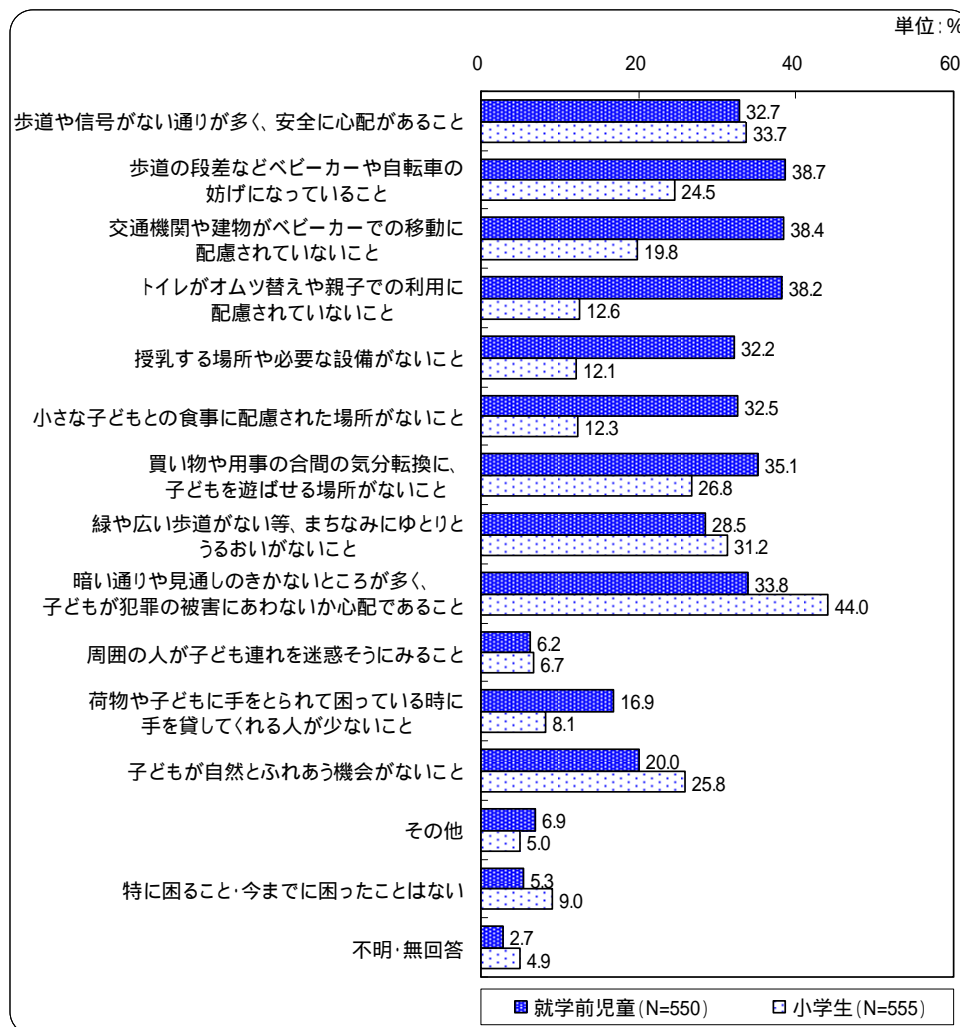
【悩みや不安の相談先】



## 外出の際、困ること・困ったこと

外出の際、困ること・困ったことについてみると、就学前児童は「歩道の段差などベビーカーや自転車の妨げになっていること」「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」がいずれも約4割と高くなっています。小学生では「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」が44.0%と最も高くなっています。

【外出の際、困ること・困ったこと】





## 子育て支援で力を入れてほしいこと

子育て支援で力を入れてほしいことについてみると、「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が小学生で71.9%と最も高く、就学前でも63.6%と高くなっています。「児童手当の充実」は就学前で66.7%と最も高く、小学生でも57.3%と高くなっています。次いで、就学前児童・小学生ともに「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が高くなっています。

【子育て支援で力を入れてほしいこと】

